

# 第369回 史跡めぐり

平成19年6月9日（土）

## 江戸情緒を残す佃島周辺と 文化開花の源流 築地を訪ねる

NPO法人 越谷市郷土研究会



葛飾北斎 富獄三十六景「武陽佃島」

## 第369回 史跡めぐり

### 江戸情緒を残す佃島と 文化開花の源流 築地を訪ねる

日 時 平成19年(2007)6月9日(土曜日)

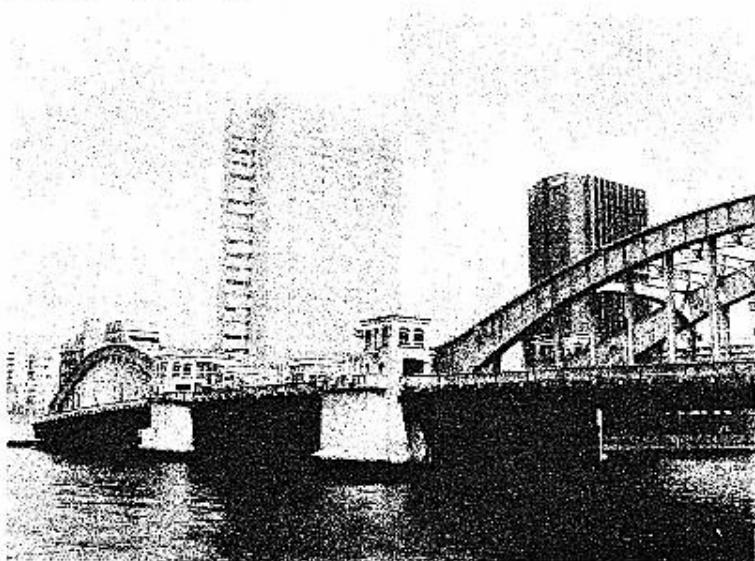
集 合 越谷駅東口広場 午前8時15分

コース 越谷駅東口 → 築地駅 → 波除稻荷神社・海幸橋・中央卸売市場、場外市場 → 軍艦操練所、築地ホテル館跡 → かちどきの渡し碑・かちどき橋資料館 → 勝鬨橋 → 月島もんじや振興会(自由解散・昼食)・路地の家並 → 佃小橋 → 住吉神社 → 石川島人足寄場跡 → 石川島灯台 → 佃島渡舟の碑 → 佃大橋 → 聖路加タワー(展望) → 築地居留地跡 → 築地本願寺 → 解散(16時20分頃)

参加費 2,000円 (交通費・資料代・保険料含む)

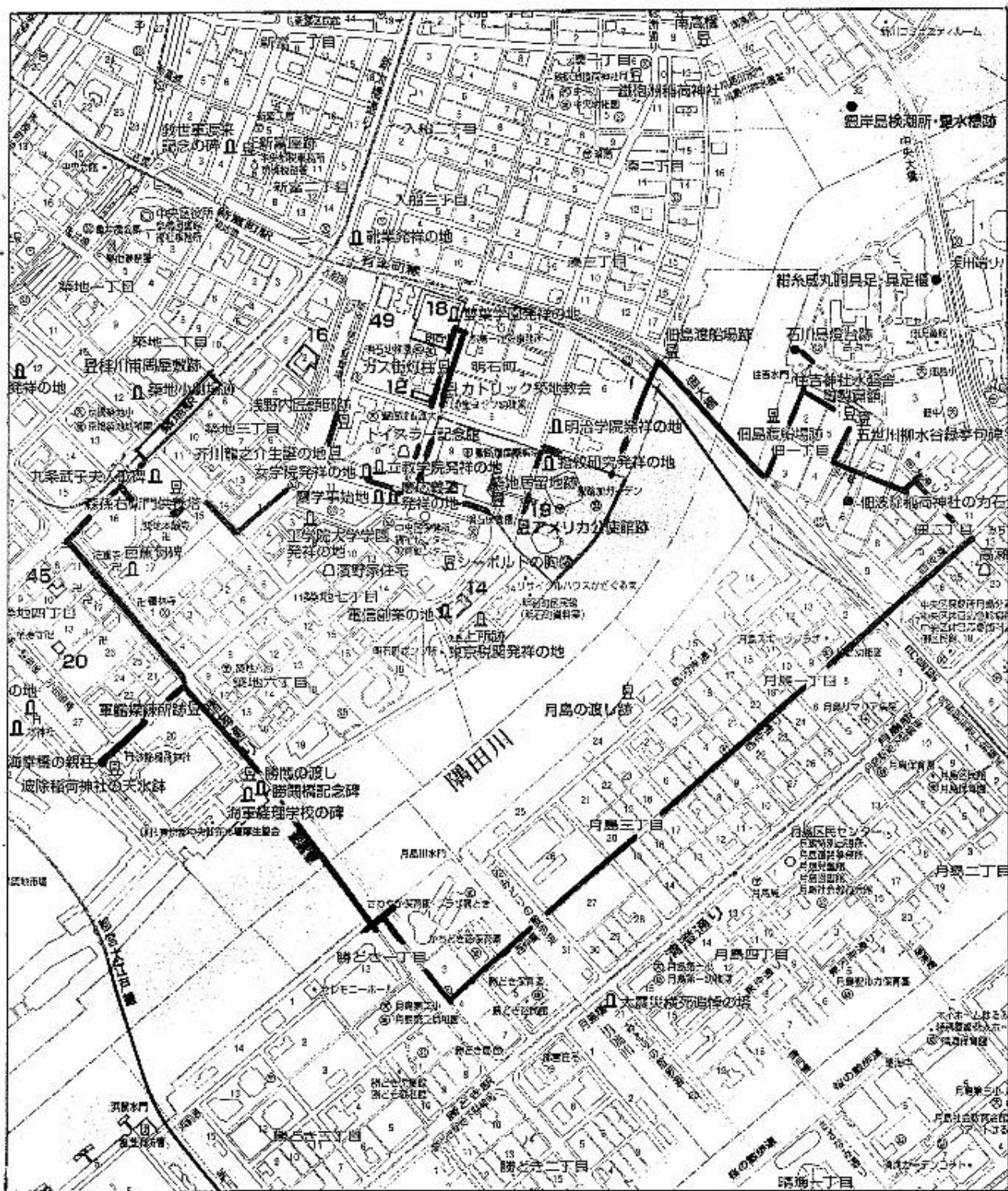
昼 食 もんじや焼他 個人払い

案内者 常任理事 古澤 孝



隅田川に架かる勝鬨橋

## 江戸情緒を残す佃島周辺と文化開化の源流築地を訪ねる



## ★波除稻荷神社

万治年間（一六五八—一六一）ごろ、築地の埋立てに伴い堤防工事を行うが、波が荒く堤防は何度も破壊された。そんな難工事の最中、海中から稻荷明神像が発見、これを祀つたところ、風も波も静まり工事が無事完了したと伝えられ「波除」という尊称も此の伝説に由来するものである。以来、航海安全の神として海運業者に篤く信仰されていた。

### 天水鉢

天保九年（一八三八）尾張藩の小場人たちが舟の安全航行を祈念して奉納（区民文化財）

### 金獅子頭一対

嘉永元年（一八四八）作（区民文化財）

天井大獅子（雄） 平成二年

お歯黒獅子（雌） 平成十四年

作者は加賀の伝統工芸の技を持つ職人 知田清雲氏

（天井獅子頭）高さ2・4m、幅3・3m 黒檜一木造り、重さ1トン

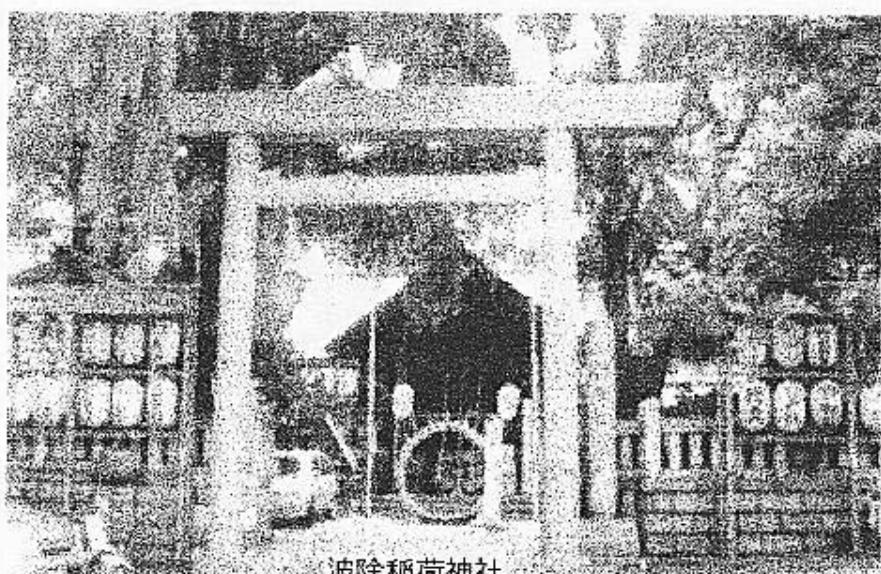
築地ならではの様々な塚

すし塚 昭和十七年十一月一日 東京都鮨商環境衛生同業組合により建立

立

海老塚 昭和四十八年九月

東天会、てんぶら料理共同組合と海老の大丸にて建立



波除稻荷神社

鰐鱥塚 昭和四十八年七月

魚河岸仲買の尾邦・三浦啓雄氏により建立

蛤石

活魚塚 昭和五十九年五月 東京築地市場活物組合により建立  
玉子塚 平成五年十一月 東京鶏卵加工業業組合により建立  
おきつね様

### 波除稻荷神社の獅子祭

江戸初期、万治二年の創建時、雲を従える「龍」、風を従える「虎」とともに万物を一声で威服させる「獅子」の巨大な頭を数体奉納され、これを担いで回ったのが始まりとされている。

大正時代には三〇対程の夫婦の獅子頭が町内を練り歩き、賑わいを見せていた。大正十二年（一九二三）の関東大震災で現存の金獅子一对を残し焼失。現在、雄の「天井大獅子」は平成二年、雌の「お歯黒獅子」は平成十四年に納められ、本年は六月八、九、十日が例祭で、ハーア日神社内の神事及び町内みこしがねり歩き、十日にはお歯黒獅子の渡御される。三年一度神社大神輿、雄・雌、大獅子の渡御となる。（本祭り平成二十年）

### ☆海幸橋の親柱（区民文化財）

海幸橋は関東大震災復興事業の一環として、昭和二年（一九二七）、旧築地川東支川に架けられ、中央市場の入り



波除稻荷神社 天井大獅子

## からさきのわたり

口に架けられたことから、豊魚を折つて海幸橋と名付けられたといわれています。平成七年、東支川が埋め立てられ、海幸橋も平成十四年に撤去された。親柱、鋼鉄製2基と石造親柱2基が現地に保存されている。

かちどきの渡し碑

### ☆中央卸売市場

関東大震災後、幕府軍艦操練所、築地木テル館の跡地に日本橋から魚市場が移転大正十二年（一九二三）より営業を開始された。

### ☆築地場外市場

鮮魚貝類・冷凍魚・塩干魚・海産物・練製品・珍味・鰹節・海苔  
・茶・肉類・卵・青果・菓物・漬物・佃煮・煮豆・惣菜・玉子焼き・雑穀・乾物・冷凍食品・食料品・料理道具・  
和食器・刃物・包装用品・飲食、喫茶等四〇〇店舗

### ☆軍艦操練所跡

向井将監や勝海舟らを頭取として、旗本・御家人・諸藩士から希望者をつのり、オランダ制の軍艦観光丸を用いて航海術や砲術を習得させた。元治元年（一八六四）焼失。

### ☆築地木テル館跡

明治元年（一八六八）に操練所跡地（二三、一〇〇番）に日本初の様式ホテル、木造二階建ての和洋折衷建造物で東京の名所となつたが明治五年（一八七二）丸の内、銀座の大火により焼失した。

### ☆かちどきの渡し碑

明治三十八年（一九〇五）の日露戦争での旅順陥落を祝して京橋区の有志らが渡し船を整備し、戦勝にちなんで

「かちどき」と名付けた渡し船施設を東京市に寄贈したことを記念して建てられたもの。渡し船は此の場所より西南200m先の今の海幸橋のたもとから出発。隅田川を往復したが勝闘橋が出来たことでその役割を終えた。

### ★ 勝闘橋

昭和十五年（一九四〇）に隅田川最下流に架けられた橋で、全長一四六mの二橋脚橋、二組の鋼鉄桁が電力により斜め上に跳ね上がる跳開橋になつており、3000t級の大型船が通行できる。その後、東京湾施設が整備されたことで大型船の通行はなくなり、昭和四十五年（一九七〇）を最後に橋の開閉は行われていない。

### ★ 月島のもんじゃ屋

西仲通りの月島二丁目、三丁目周辺の下町情緒たっぷりの町並みに、六十一軒の店があり、昼食します。

### ★ 古い家並みを歩こう

関東大震災や戦災を運よく免れた出桁造りの家屋が残り、大戦前の下町風情を味わうことができる。

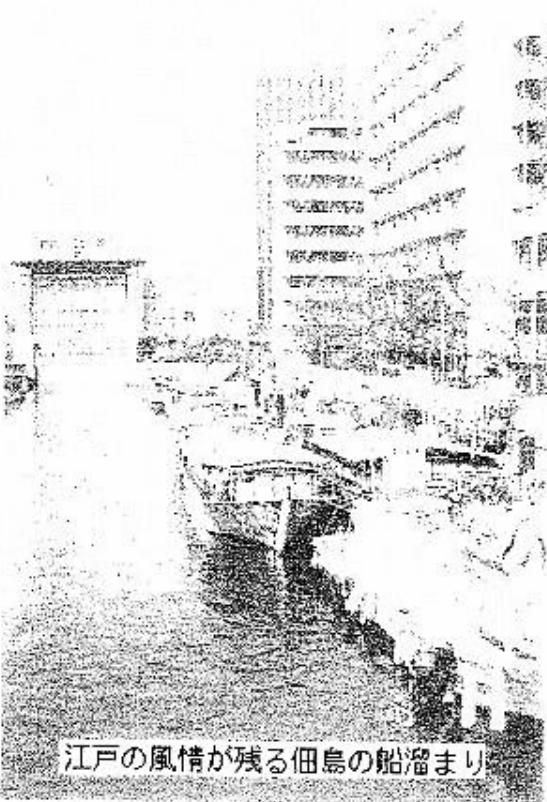
### ★ 月島

月島の歴史は浅く、埋立てが完了したのは明治二十五年（一八九二）、隅田川に年々土砂が堆積し、船舶が往来困難となつたので、東京府が土砂をさらい造成した埋立地。

### ★ 佃島



1970年11月、最後の跳開を見る人々



江戸の風情が残る佃島の船溜まり

寛永年間（一六二四～四四）、徳川家康に招かれた摂津国西成郡佃大和田村（現・大阪府西淀川区）の漁師三十人が隅田川河口にできた自然の寄州（干潟）を埋め立てた居住地。

## ☆石川島

江戸中期から埋立て、幕府の船手頭石川八右衛門重次が領主から地名となる

## ☆佃堀

赤い欄干の佃小橋のかかる掘割には、江戸時代後期寛政十年（一七九八）徳川幕府より埋立てを許された六本の大轍を支える抱（かかえ）木を六本の棹（さお）の柱が埋められている。三年に一度、掘り出されて町内六か所に立てられる。（轍柱全長十八m）

## ☆住吉神社 佃の鎮守

祭神底筒、中筒、上筒之男命がある。正徳元年（一六四四）、佃島の漁師が摂津国住吉神社の分霊を勧進して創建、海運業者、問屋業者から篤く尊崇された。

## 水盤舎（区民文化財）

天保十二年（一八四一）に木綿問屋の白子組から寄贈。檜材の切妻造、瓦葺で明治一年の再建。欄干の正面には石川島の灯台と佃の渡し。側面には帆を張った回船や網を打つ小舟。背面には磯の景色、また内側にも潮干狩など佃島の風景が彫られている。

## 鳥居の陶製扁額（区民文化財）

明治十五年（一八八二）有栖川宮穂仁親王の筆。

### 八角神輿

天保九年（一八三八）、芝大門の万屋利兵衛により製作された。海中渡御は昭和三十七年（一九六二）まででなくなり今は船で渡御している。

### 水谷縁亭の句碑（昭和四十一年建立）

佃島に生まれ川柳五世をついだ。

「和らかで、かたく持ちたし 人」ニシる

### 伝東洲斎写楽終焉之地碑

六代目歌川豊国によつて建立

浮世絵師の東洲斎写楽の正体について多くの説があるが、その一つが佃島に住んでいた二代目下駄屋甚兵衛とする説である。欄間の彫り師だったがのち下駄屋になつたとする碑には寛政九年（一七九七）七月七日没と記されている。

### ☆石川島の灯台

一八六六年、石川島人足寄場奉行清水純崎は隅田川河口や品川沖を航行する船舶の安全のため建設した。現在復元されている。

### ☆石川島人足寄場跡

老中松平定信は、寛政改革の一環として無宿者や軽犯罪者を収容して手に職をつけさせ更生させるため設けた。人足寄場設置を進言したのは、火附盗賊改役の長谷川平蔵で、池波正太郎の小説「鬼平犯科帳」の主人公鬼



平「長谷川平蔵」がモチルである。

敷地は、一万六千坪（五三、八〇〇坪）。鍛治・紙漉・簾籠・彫り物・屋根葺きなど多種多様な技術習得小屋が設置された。入所は原則三年三か月。その間、入所者は働きながら手に職をつけ赦免の際には、仕事道具や工具の積立金を支給された。

### ☆佃島渡船の碑（区民文化財）

佃の渡しは、正保二年（一六四五）、佃島と対岸の築地との間を渡すために設けられた。石碑は昭和二年（一九二七）東京市が手漕ぎを廃止して曳舟渡船を開始したのを記念して建てられた。昭和三十九年（一九六四）佃大橋完成によって廃止となつた。明治初年、渡し賃は五厘であつたので、「五厘の渡し」と呼ばれていたが、

昭和二年（一九二七）無賃となり、一日七〇往復していた。

### ☆ヘンリーフオールズ住居の跡の碑

指紋研究発祥の地。イギリス人宣教師が科学的に指紋を研究、英

国の科学雑誌「ネイチャ」に論文を発表し

たのを記念したものである。彼が指紋に興味を持ったのは、土器についていた古代人の指紋を見たからと伝えられている。

### ☆アメリカ公使館跡の記念碑

明治維新後明石町とその周辺に外国人居留地が開かれ、アメリカ公使館もこの地に明治八年（一八七五）から二十三年まで置かれていた。記念碑は五基あり、十三星、鷲、盾など当時のアメリカ合衆国を象徴するデザイン



佃島渡船の碑

が影されている。

## ☆築地居留地跡

明治三年（一八七〇）、商館が林立した横浜や神戸と異なり、公使館や領事館が並び外交官や宣教師、医師など知識人が多く住み、知的で落ち着いた雰囲気が漂っていた。

## ☆聖路加タワー

聖路加国際病院の聖路加ライフサイエンスセンター構想をもとに1990年に着工、1994年に開業した隅田川のほとりに建つ2棟の高層ビルで、一方にある展望室が地上200mの高さ。

都心とは思えないほどゆったりとした空間と、首都東京を360度に見渡せる眺望が魅力。

## ☆力トリック築地教会

明治八年（一八七五）創設。聖堂は、コシック式赤レ

ンガ造りだったが、関東大震災で崩壊したため、昭和二年（一九二七）にギリシャ神殿パルテノン形式の聖堂が建築された。堂内には、明治九年にフランスで鋳造された銅製洋鐘（区民文化財）がある。



聖路加タワー 47階展望室からの眺望

## ★ガス街灯柱

築地居留地で、実際に使用されている  
た鑄鉄製で、コリント風の装飾が施  
されているが、ガスランプは復元さ  
れたもの。

## ★蘭学事始の碑（都指定文化財）

安永三年（一七七四）、豊前国（大  
分県）中津藩医の前野良沢が杉田玄

白らとともに、オランダ語の解剖書

「ターベル・アナトミア」を中津藩奥平家中屋敷内で翻訳し「解体新書」を完成させた。近代医学発祥の基礎  
を築いた場所。

## ★慶應義塾開塾の地の碑

「天は人に上に人を造らず。人の下に人を造らずといへり」という福沢諭吉の「學問のすゝめ」の一節が彫ま  
れている。

## ★芥川龍之介生誕の地

明治二十五年（一八九二）三月一日に乳牛牧場主の新原敬三の長男として生まれる。誕生後七か月にして母の  
長兄芥川道章に引き取られて十二歳の時、芥川家の養子となる。文筆活動し「地獄変」「羅生門」「河童」「或る  
阿呆の一生」など多くの名作を残したが、昭和二年七月二十四日、三十五歳で自害した。

## ★浅野内匠頭邸跡の碑（都指定文化財）



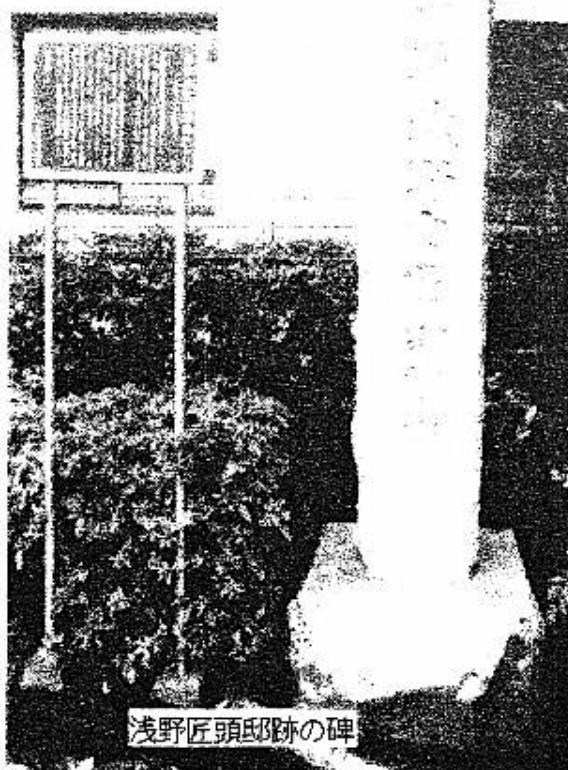
播磨国（兵庫県）赤穂藩主浅野内匠頭長矩は、元禄十四年（一七〇一）江戸城内で吉良上野介義央に対し刃傷事件を起こし、即日切腹を命じられて浅野家は断絶した。浅野家上屋敷があつたところで「仮名手本忠臣蔵」の浄瑠璃や歌舞伎の演目となつた。

## ☆築地本願寺

浄土真宗本願寺派、本願寺別院。元和三年（一六一七）第十二代宗主准如上人によつて建立。当時、浅草近くの横山町にあつたが明暦三年（一六五七）の明暦の大火（振袖火事）で焼失。佃島の門徒が中心になり海を埋め立てて再建。その後、本堂は関東大震災で焼失。本堂の再建には東京大学工学部教授・伊藤忠太博士が設計を手がけ古代インド仏教様式で、昭和九年（一九三四）竣工した。

## 土生玄碩墓（都指定文化財）

江戸時代後期の眼科医。文化七年（一八一〇）奥医師を拝命し、その後、法眼になり、文政五年（一八二二）には十二代將軍徳川家慶の眼疾を治療した。文政十二年、シーボルトから眼病治療法を教授された。お礼に、將軍拝領の紋服を贈つたことでシーボルト事件に連座、改易となり江戸を追放された。嘉永元年（一八四八）八月十七日、八十七歳で死去。土生家の菩提寺、築地本願寺中真龍寺に葬られたが、その後ここに改葬された。



浅野匠頭邸跡の碑

### 森孫右衛門供養等（国民文化財）

江戸時代以来、隅田川河口に佃島を築き、日本橋魚河岸のもととなる店を開いた人物とも伝えられている。

この供養塔は文久元年（一八六一）二百年忌に子孫の森幸右衛門勝鎮と親族の佃宇右衛門寛敏の両名により建てられた。

### 間新六供養碑

浅野内匠頭長矩の家臣。元禄十五年（一七〇二）

の殿中刃傷事件の仇討に加わり、麻布の毛利邸で切腹高輪泉岳寺に墓石がある。新六のみが当寺に

葬られたのは、当寺の檀家であったのか、生前の特徴によるものだらうといわれている。

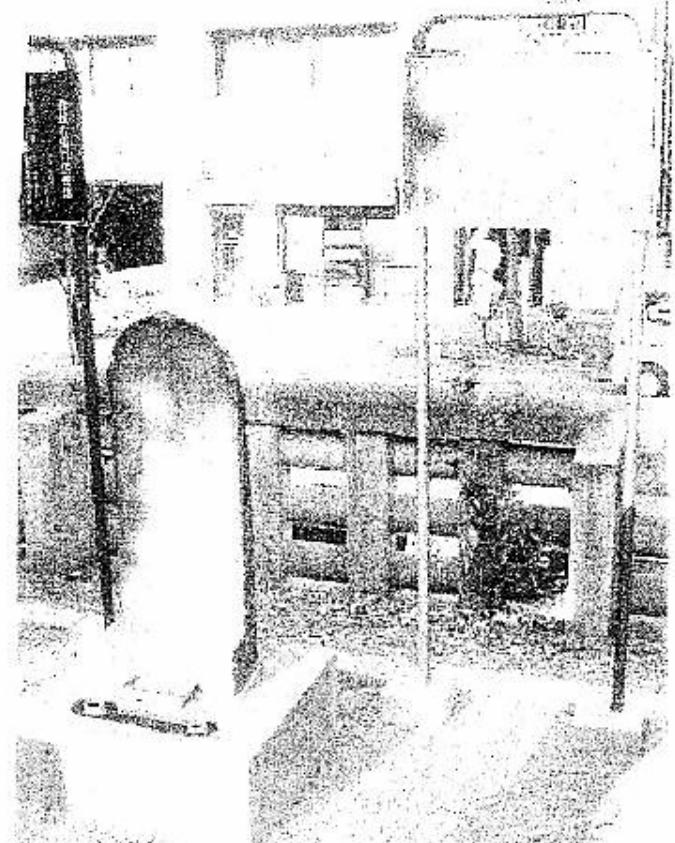
### 酒井抱一墓（都指定文化財）

（一七六一～一八二八）播磨国（兵庫県）姫路市蔵主 酒井忠仰の次男として生まれた。尾形光琳の画風に傾倒し、画筆に秀で、茶道・茶道・俳諧・狂歌等にも長じ、文人墨客とも交わりを深めた。風雅の人であった。

文化十二年（一八一五）光琳の百回忌を當み、光琳畫譜を出版した。

### 九条武子の歌碑

武子は本願寺二十一世門主大谷光尊の二女で、公爵丸、一条良致（よしむね）の妻となつたが、佐佐木信綱に師事して女流家人として名を馳せた。



赤穂浪士間(はざま)新六の供養塔(東京跡)

★参考資料★

隅田川を歩く

林順信（JTB）

東京都の歴史散歩

東京都歴史教育研究会

波除稻荷神社

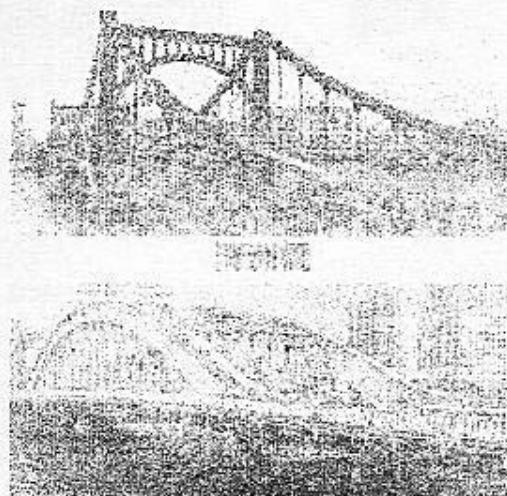
編集冊子

中央区文化めぐり

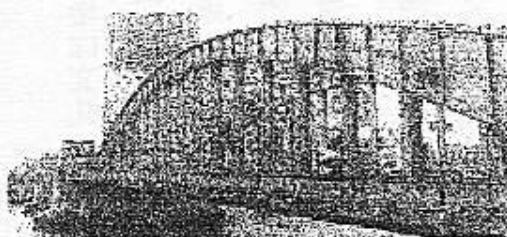
中央区教育委員会

かちどき橋資料館 案内書

## 隅田川の3橋など重文に



永代橋



関根橋

### 文化審答申

文化審査申込書（質問表）は、本件の申請書類に記載された事項を確認するため、申請者より提出されるものである。本件の申請書類は、(株)大正橋工事部が提出したものである。

### 文化審答申

本件の申請書類は、申請者の申請書類と同一である。申請者は、(株)大正橋工事部である。

本件の申請書類は、申請者の申請書類と同一である。申請者は、(株)大正橋工事部である。